



石川県における参院選での公明党比例票の伸びは、党員や支持者の皆さまが、地域で党理解の輪を広げる取り組みを繰り返していることが大きいと思います。

都市部でない小さな町に国会議員が訪れることはあまりありませんが、公明党の浜田昌良参院議員は、能登半島な

石川県本部 増江 啓代表 (県議)

どの小さな集落を訪れ、住民相談に応じ、さまざま手を打っていました。

一例ですが、自然体験や農業体験ができ、地域の農家に

を紹介。それを受けて早速、田端町議が議会質問し、町は制度を利用して集落支援員が誕生、大麥喜ばれました。他にも老朽化した福祉セン

相談を聞き放しにせず

ネットワー的確な取り組み

泊まる農家民宿を中心に、能登町で田舎と都会の交流事業を始めた「春蘭の里」実行委員会から相談を受けた際、浜田さんは国の集落支援員制度

ターの建て替え支援など、住民相談を聞き放しにしない対応の早さと議員ネットワークを通じた公明党議員の的確な取り組みが評価される場面

が多くありました。

また、機関紙購読推進期間には、一つの自治体に集中して県本部所属議員が入り、地域の党員さんと共に新聞購読をお願いする活動を行っています。

さらに毎月、県内一斉街頭デーを設け、10月は16日を中心に県下で全議員が街頭演説を行いました。

これからも県本部所属議員が団結して、党員、支持者の皆さまと共に、党勢拡大に取り組んでまいります。